

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022年11月14日

田中建設工業株式会社

(東証スタンダード:1450)

- 1 会社概要 ……2
- 2 2023年3月期 第2四半期実績 ……5
- 3 2023年3月期 計画・通期予想 ……14

1

# 会社概要

会社概要 / 企業理念 / 経営理念 / 特徴 / ビジネスモデル

田中建設工業株式会社

# 会社概要

人にやさしい環境づくり

会社名	田中建設工業株式会社
設立	1982年2月3日（創業40年）
所在地	東京都港区新橋4-24-11
代表者	代表取締役社長 中尾 安志
資本金	297,156千円
従業員数	108名（2022年9月末）
主要株主	スリーハンドレッドホールディングス株式会社 66.45%（創業者 田中俊昭の資産管理会社）
事業内容	建築構造物解体工事の施工及び施工管理

## 企業理念

「子供たちに何が残せるか」を常に考え、明日のために今日できることを実行し、社業を通じて「人にやさしい環境づくり」に貢献します。

## 経営理念

### 思いやり

TANAKENは、「環境への思いやり」「お客さまへの思いやり」「地域への思いやり」「社員及び家族への思いやり」を大切にします。

### 信頼

TANAKENは、「技術への信頼」「会社への信頼」「社員への信頼」を基に、お客さまからの揺るぎない信頼と評価を得ることを目指します。

### 感謝

TANAKENは、「お客様への感謝」「家族・仲間への感謝」「仕事への感謝」を胸に刻み、社会の発展に貢献します。

## 特徴

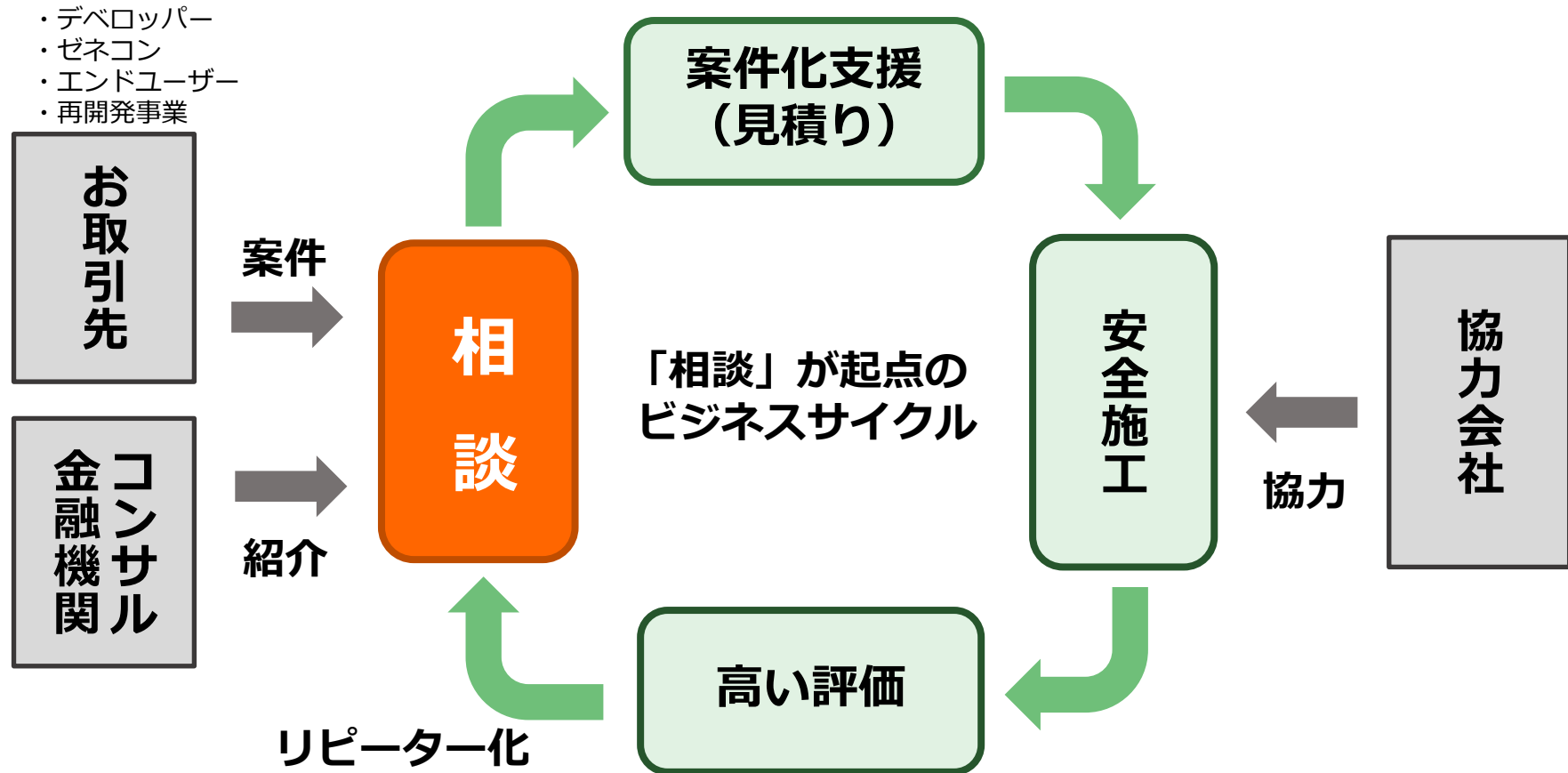
- 1 建築構造物の解体に関する工事をワンストップで受注・施工が可能
- 2 解体工事は協力会社が行い、当社は**施工管理、安全管理、近隣対応に集中**
- 3 施工管理に徹した「**持たざる経営**」(※)により**高い経営効率を実現**  
(※当社は重機を一切保有していません)

## ビジネスモデル

長年にわたり安心・安全な施工管理を積み重ね、**収益性と安全性を兼ね備えたビジネスモデルを構築**

- 相談を起点とした効率的な営業サイクル
- 協力会社との協調による安心・安全施工が高い評価
- 大型工事の元請受注を可能とする良好な財務内容

- 安全施工をベースに、「相談」を起点とした効率的な営業サイクルを構築
- 元請率・リピート率とも高水準を確保、小規模・短工期の工事によりリスク分散



2

# 2023年3月期 第2四半期実績

損益累計／四半期別損益／財務状況／受注状況／主要指標／ビジネスモデル強化

田中建設工業株式会社

# 2023/3期2Q 損益実績（累計）

人にやさしい環境づくり

- 大型工事の順調な進捗により、前年同期比で大幅な増収増益
- 通期計画の進捗率は、売上60%弱、利益70%超と順調に推移、利益率も向上

金額単位：百万円

	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年 同期比	23/3期 計画	計画 進捗率
売上高	4,868	<b>6,022</b>	1,154	10,300	58.5%
売上総利益 (率)	994 20.4%	<b>1,448</b> 24.1%	454 3.7%	2,317 22.5%	62.5%
販売費及び一般管理費	358	<b>380</b>	22	849	44.8%
営業利益 (率)	635 13.1%	<b>1,067</b> 17.7%	432 4.6%	1,468 14.3%	72.7%
経常利益 (率)	642 13.2%	<b>1,080</b> 17.9%	438 4.7%	1,482 14.4%	72.9%
当期純利益	400	<b>668</b>	268	996	67.1%

# 2023/3期2Q 損益実績（四半期別）

人にやさしい環境づくり

- 2Qは、1Qに続いて前年同期比で増収増益、利益率も向上
- 売上総利益率は、26.1%→22.6%と低下したが、計画の22.5%以上を確保

金額単位：百万円

	23/3期 1Q	前年 同期比	23/3期 2Q	前年 同期比	増減	23/3期 2Q累計
売上高	2,574	22	<b>3,448</b>	1,131	874	6,022
売上総利益 (率)	670 26.1%	172 6.5%	<b>777</b> 22.6%	281 1.1%	107 ▲3.5%	1,448 24.1%
販売費及び一般管理費	216	35	<b>164</b>	▲13	▲52	380
営業利益 (率)	454 17.7%	137 5.2%	<b>613</b> 17.8%	295 4.0%	159 0.1%	1,067 17.7%
経常利益 (率)	460 17.9%	139 5.3%	<b>619</b> 18.0%	298 4.1%	159 0.1%	1,080 17.9%
当期純利益	286	84	<b>382</b>	183	96	668



# 2023/3期2Q 財務状況

人にやさしい環境づくり

- 現預金減少するも元請率増加（57%→77%）によるものであり、利益率向上
- 自己資本比率70%超と良好な財務内容を維持し、資金調達余力あり（総枠27億円）

金額単位：百万円

	22/3期	23/3期2Q	増減	備考
流動資産	5,864	<b>6,807</b>	943	完成工事未収入金+2,354、現預金▲1,518
うち現預金	2,976	<b>1,458</b>	▲1,518	工事立替金増加
固定資産	1,186	<b>1,196</b>	10	投資有価証券+20
流動負債	1,510	<b>2,126</b>	616	工事未払金+380、未成工事受入金+39
うち有利子負債	—	—	—	
固定負債	100	<b>77</b>	▲23	役員退職慰労引当金▲23
純資産	5,439	<b>5,799</b>	360	利益剰余金+351、評価差額等+8
総資産	7,050	<b>8,003</b>	953	
流動比率	388.3%	<b>320.2%</b>	▲68.1%	
自己資本比率	77.1%	<b>72.5%</b>	▲4.6%	
ネットキャッシュ	2,976	<b>1,458</b>	▲1,518	

# 2023/3期 2Q 受注状況

人にやさしい環境づくり

- 受注高（2Q累計）は、前年同期比+395百万円と概ね順調に推移
- 上期繰越受注高4,788百万円あり、来期に向けて受注の更なる積み上げを図る

金額単位：百万円

	21/3期 2Q累計	21/3期 通期実績	22/3期 2Q累計	22/3期 通期実績	23/3期 2Q累計
前期繰越受注高	4,490	4,490	4,427	4,427	4,545
当期受注高	6,334	8,948	5,950	9,942	<b>6,345</b>
当期完工高	3,907	9,011	4,868	9,824	6,022
当期繰越受注高	6,917	4,427	5,509	4,545	(※) <b>4,788</b>

※基幹システム本格稼働に伴い、従来管理との誤差修正（▲80百万円）

# ビジネスモデルの強化（フロービジネスのストックビジネス化）

人にやさしい環境づくり

- 「相談」を起点とした効率的な営業サイクルを構築、小規模・短工期でリスク分散
- 一方、**絶えず受注を取り続ける必要があるフロービジネスであり、ストック化が課題**

- 中長期的な視点に立った**相談ベースの提案営業（2～3年先）**に注力
- 営業案件ストックの持続的な維持拡大により、安定的な受注獲得に繋げる
- 営業案件ストック残高は、400億円超を維持

## 営業案件ストック残高

金額単位：百万円

	20/3月	20/9月	21/3月	21/9月	22/3月	22/9月	年間増減
件数	136	167	198	193	185	<b>177</b>	▲16
金額	28,554	35,489	42,814	43,398	41,661	<b>41,442</b>	▲1,956

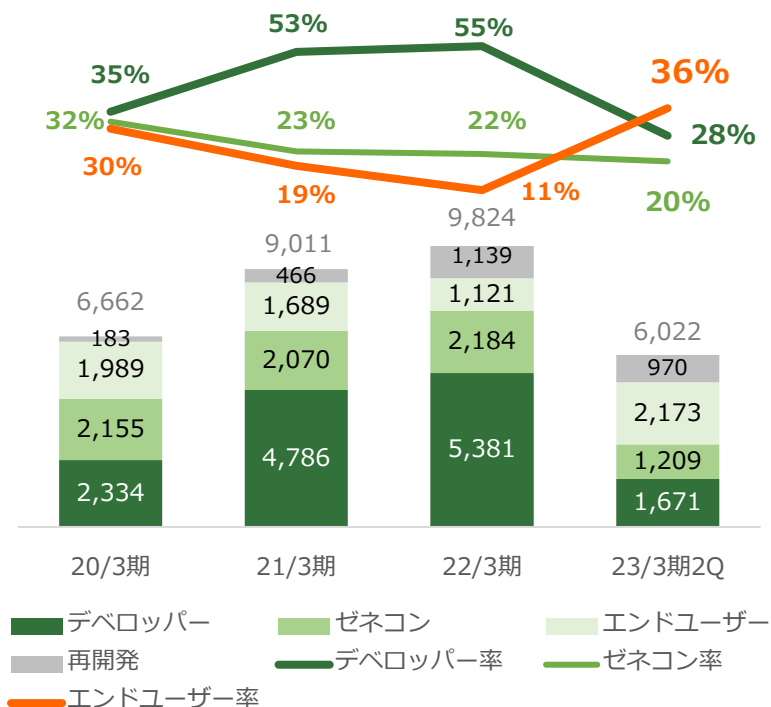
# 主要指標 1（営業先別、請負先別の売上高）

人にやさしい環境づくり

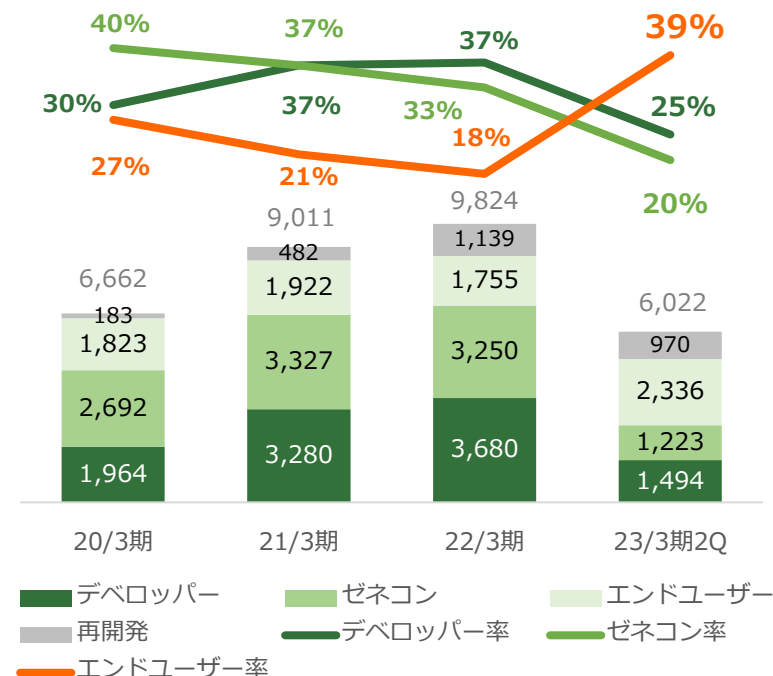
- 営業先別、請負先別は、新規開拓によるエンドユーザー向け比率が増加
- デベロッパー向け比率が減少、ゼネコン向けは概ね安定、再開発も増加傾向

金額単位：百万円

## 営業先別売上高



## 請負先別売上高



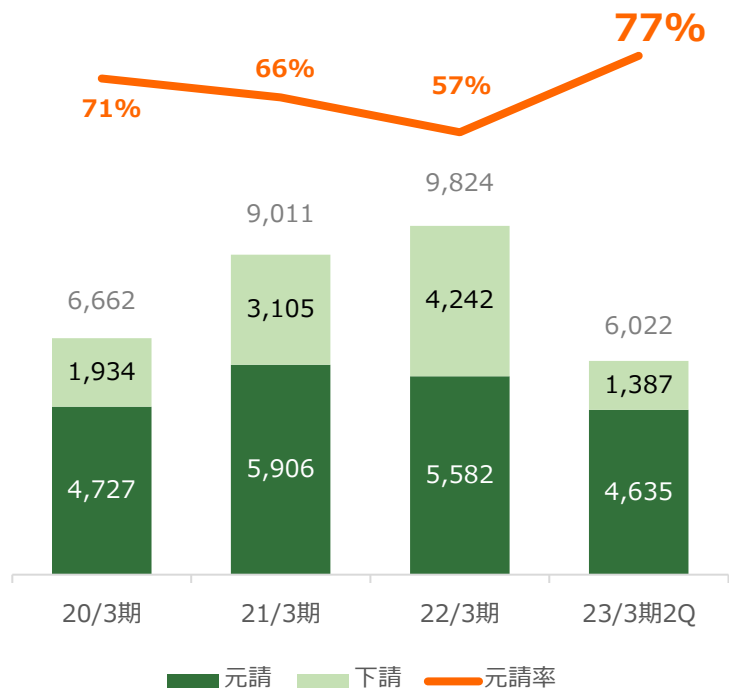
# 主要指標 2（元請率、リピート顧客率）

人にやさしい環境づくり

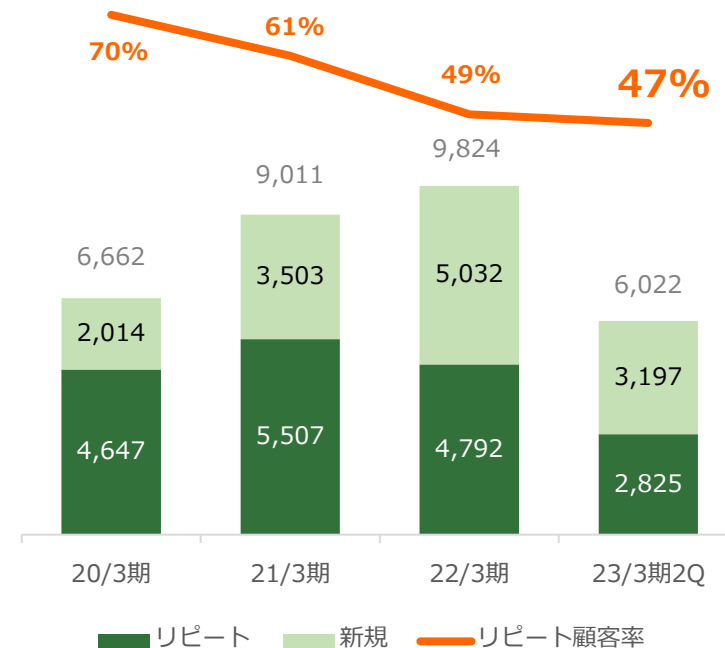
- 新規開拓によるエンドユーザー向け、再開発の増加により元請率も増加
- 新規増加によりリピート顧客率が減少するも、今後のリピーター化が期待できる

金額単位：百万円

## 元請率



## リピート顧客率

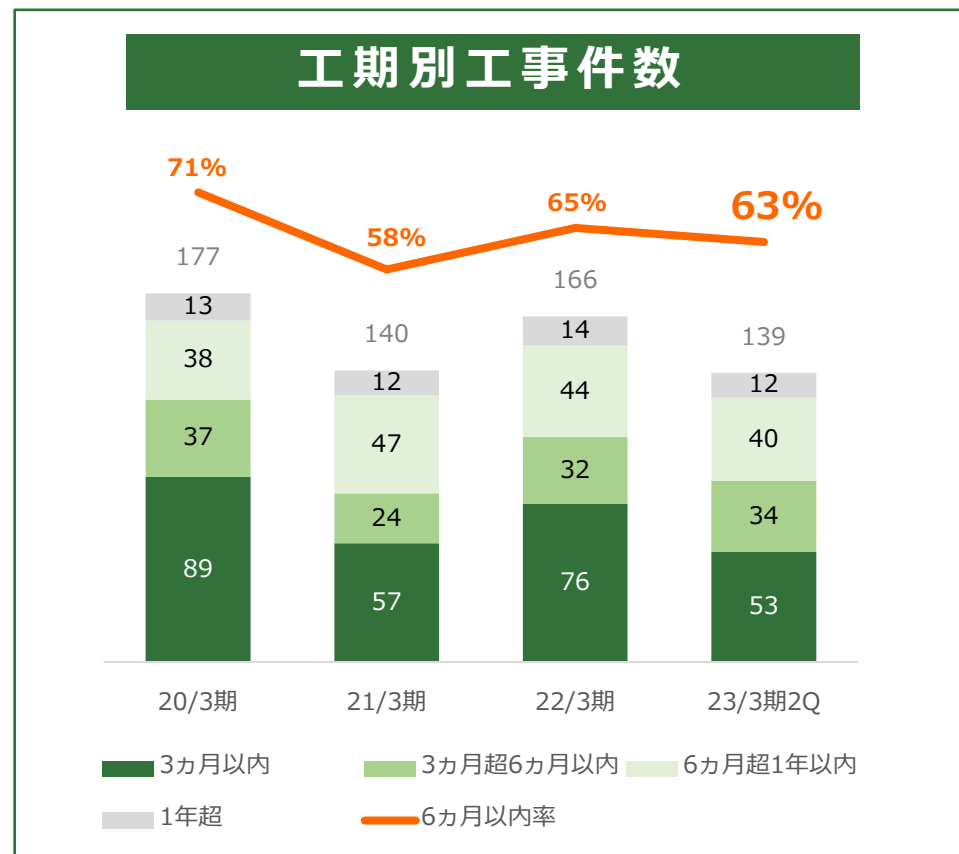
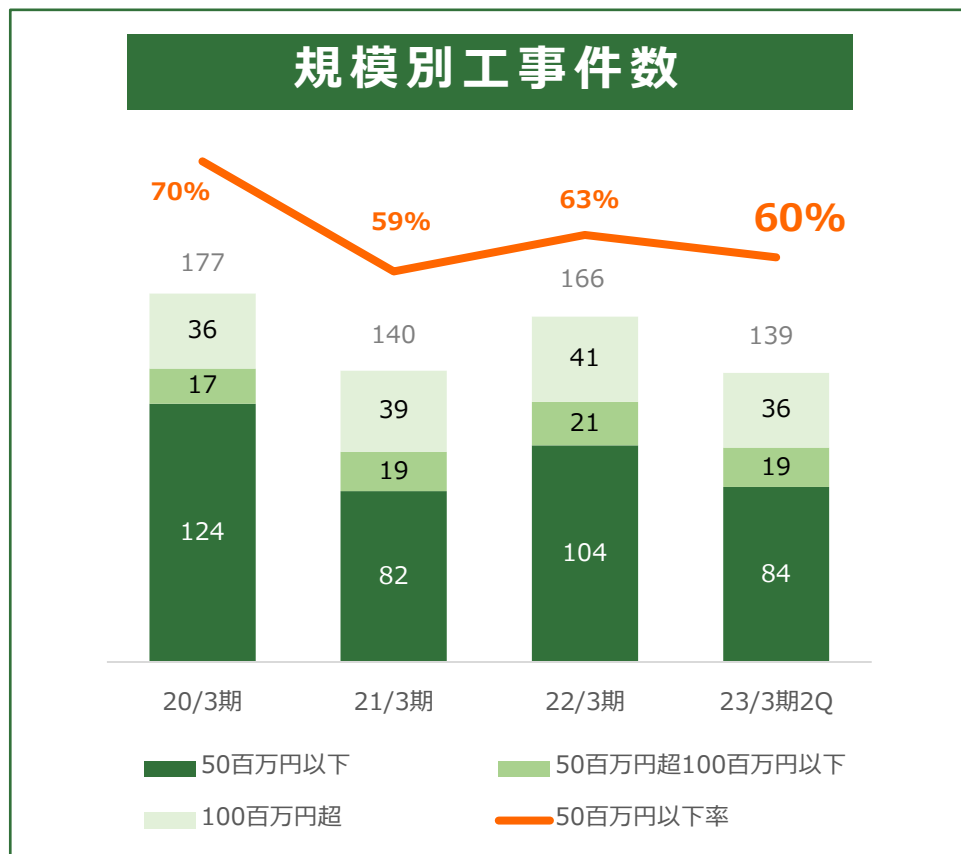


# 主要指標 3 (規模別、工期別の工事件数)

人にやさしい環境づくり

- 受注金額50百万円以下、工期6ヵ月以内の小規模・短工期の工事が60%以上
- ベース売上の確保、現場管理者の適正配置により業績の安定、効率化に寄与

単位：件



3

# 2023年3月期 計画・通期予想

主要施策の実施状況／営業戦略の実施状況／計画・通期予想／配当政策

田中建設工業株式会社

# 主要施策の実施状況

人にやさしい環境づくり

## 基本方針

- 23/3期は、中期計画TANAKEN“ビジョン100”に謳った「当社の確固たる基盤の構築」を引き続き推進し、当面の売上目標である100億円超を目標とする

主要施策		実施状況	
1	営業力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業人員の拡充による対応力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人財育成により戦力化</li> </ul>
2	施工管理・現場のバックアップ体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事部長代理を配置し、工事全体の進捗チェック</li> <li>・ 現場ITサポートシステムの有効活用の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部長代理を配置済</li> <li>・ 利用徹底を推進中</li> </ul>
3	技術開発部の活動強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3D活用による提案力強化及び計画図の高度化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見積積算部との連携強化</li> </ul>
4	安全管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働安全衛生マネジメントシステムISO45001の徹底</li> <li>・ 安全協力会によるパトロールの実施、事故事例の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理、運営を徹底</li> <li>・ 適宜実施中</li> </ul>
5	DX推進とセキュリティ強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹システムの本格稼働、ペーパーレス等の効率化</li> <li>・ データセンターレベルアップによるセキュリティ強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本格稼働済、システム環境の改善を実施中</li> </ul>
6	働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元請現場の土曜日休業を促進</li> <li>・ 毎週水曜日にノー残業デーを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれも不十分であり、今後改善を図る</li> </ul>
7	執務環境の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本社移転による1フロア化検討（多層階かつ別棟に別れた執務スペースを統合し、効率化を促進）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本社移転先を決定、今期中に移転する計画</li> </ul>
8	人員計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 119名体制（うち技術者60名）の早期実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き採用活動を強化</li> </ul>



## 基本方針

- 以下の成長戦略を展開・実施していく

	成長戦略と主要施策		実施状況
1	既存取引先との深耕と新規顧客の開拓	<p>&lt;既存取引先&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅系部門に加えて、物流・商業・マンション再生・市街地再開発の新規開拓に注力</li> </ul> <p>&lt;新規開拓&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来のリピートにつながる営業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デベロッパー各社の都市開発部門、物流倉庫部門への営業実施中、見積依頼も増加</li> <li>・新規受注は増加、今後のリピートにつなげていく</li> </ul>
2	大型再開発案件及びマンション・公団の建替案件の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に実権者とプロジェクト関係者との接点を設け、工期圧縮を踏まえたVE（バリューエンジニアリング）の提案実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地再開発案件の受注獲得、引き続き提案営業を実施中</li> </ul>
3	新たな社会潮流を捉え、地方案件も含めた新たな解体需要の案件化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存取引先、金融機関から各種大型施設の廃止・売却、工場廃止等の情報取得に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に受注につながった事案もあり、引き続き情報収集中</li> </ul>
4	官公庁市場への参入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市街地再開発組合」「土地区画整理事業」に特化し、公共工事实績の積み上げを図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地再開発案件の受注獲得等、実績積み上げ中</li> </ul>

# 2023/3期 計画・通期予想

人にやさしい環境づくり

- 23/3期は売上高・利益ともに順調に推移しており、通期業績予想に変更なし
- 人財採用を進めているが一定の退職により技術者は微減、引き続き採用を強化する

金額単位：百万円

	22/3期 実績	23/3期 業績予想	前期比	23/3期 2Q累計	当期計画 進捗率	中期計画 25/3期
売上高	9,824	10,300	476	<b>6,022</b>	58.5%	10,000
売上総利益 (率)	2,138 21.8%	2,317 22.5%	179 0.7%	<b>1,448</b> 24.1%	62.5% -	2,100 21.0%
販売費及び一般管理費	720	849	129	<b>380</b>	44.8%	900
営業利益 (率)	1,418 14.4%	1,468 14.3%	50 ▲0.1%	<b>1,067</b> 17.7%	72.7% -	1,200 12.0%
経常利益 (率)	1,434 14.6%	1,482 14.4%	48 ▲0.2%	<b>1,080</b> 17.9%	72.9% -	1,220 12.2%
当期純利益	967	996	29	<b>668</b>	67.1%	809
総人員 (人)	107	126	19	<b>108</b>	85.7%	119
うち技術者 (人)	54	60	6	<b>52</b>	86.7%	60

## 配当方針

当社は、継続的な成長と株主の皆様への利益還元を経営の最重要目標として位置づけており、継続的な成長のための財務体質の強化と株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元とのバランスを勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を充実していくことを基本方針としています。

## 23/3期 配当予想

- 上記配当方針に則り、予想される業績・純資産を考慮して以下を予定
- 既に公表している配当予想から変更なし

1株当たり配当金

73円00銭

1株当たり当期純利益

228円99銭

配当総額

317,509千円

配当性向

31.88%

本資料にある内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な重要要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりえることをご了承ください。

## IRに関するお問い合わせ先

田中建設工業株式会社 管理本部

TEL : 03-3433-6401

\*受付時間 : 9:00-17:00

(土日祝日および当社休業日を除く)